

「霞ヶ関カンツリー倶楽部」

五輪に相応しい規模・歴史・過去の競技実績が揃った日本を代表するコース



CHGスタッフ
田中あすかがお届けします!

2014年 1月24日(金)

今

回は1月24日(金)に「霞ヶ関カンツリー倶楽部・西コース」で開催したコンペの様子を紹介します。

霞ヶ関カンツリー倶楽部は、**2020年東京オリンピックのゴルフ会場にも決定している日本を代表する名門ゴルフ場**です。

当初、今回のコンペは5組20名で開催を予定していましたが、沢山の参加希望がありましたので、7組28名で開催することとなりました。

参

加者の中には、「ゴルフを始めてから、霞ヶ関カンツリー倶楽部でプレーすることが夢でした。」という方や、「オリンピック開催のため、話のたねに参加してみました。」という方な

ど、皆さん色々な思いを抱きながら、当日を迎えられた様子でした。

「真冬にもかかわらず、コースコンディションは良好で、平日頃のコースメンテナンスのレベルの高さが感じられました。」という感想を頂き、**名門コースでプレーすることの素晴らしいさを感じて頂けたようです。**

また、「気持ち良くラウンドできたわりには、なかなかスコアが伸びず、気づかぬうちに各ホールの『ワナ』にハマっていました。」と**コースの戦略性の高さを実感**しながらプレーを楽しまれました。

プ

レー後には、ゴルフ場総副支配人の瀬戸

様から、コース紹介やオリンピックについてのお話をして頂き、霞ヶ関カンツリー倶楽部がオリンピックの競技会場に決定した際の経緯や、2020年開催までのゴルフ場としての取り組みなどを知ることができた研修会となりました。



研

修会のお話の中で、オリンピックの際には「男子競技を4日間行い、2日間空けて、女子競技を4日間行う」というスケジュールのようですが、短期間でのコースメンテナンスをどうするのかということが私自身とても興味深く感じました。

今年の8月には西・東の両コースにてイベントを開催する予定ですので、今回参加された方も参加できなかった方も、ぜひ今後世界中から注目を浴びる名門・霞ヶ関カンツリー倶楽部でのプレーされてみてはいかがでしょうか。

最後までお読み頂きありがとうございます。

